

中津南地区尾鳩地域 地区防災計画



令和 3 年 3 月

目次

1	計画の対象地区の範囲	1
1.1	計画の名称.....	1
1.2	計画の対象範囲.....	1
2	基本的な考え方	2
2.1	基本方針.....	2
2.2	活動目標.....	2
3	地区の特性	3
3.1	自然特性.....	3
3.2	社会特性.....	5
3.3	想定される災害.....	6
3.3.1	水害(浸水・河岸侵食).....	6
3.3.2	土砂災害.....	8
3.3.3	深層崩壊.....	12
3.4	防災マップ.....	13
4	防災活動の内容	1
4.1	避難行動単位.....	1
4.2	防災情報の共有.....	1
4.2.1	防災情報の収集.....	3
4.2.2	防災情報の伝達.....	6
4.3	避難行動計画(タイムライン).....	7
4.4	要配慮者支援.....	9
4.5	「介護認定」3以上の方の支援.....	10
4.6	専門家の助言.....	12
4.7	国・県、市町村、関連団体、地元企業等との連携.....	13
5	実践と検証	14
5.1	防災訓練の実施・検証.....	14
5.2	防災意識の普及啓発.....	14
5.3	計画の見直し.....	14

1 計画の対象地区の範囲

1.1 計画の名称

本計画の名称は「中津南地区尾鳩地域地区防災計画」とします。

1.2 計画の対象範囲

尾鳩地区を対象とします。尾鳩地区は中津川市の南部に位置し、1～6班と第2町会AおよびBの8班からなります。

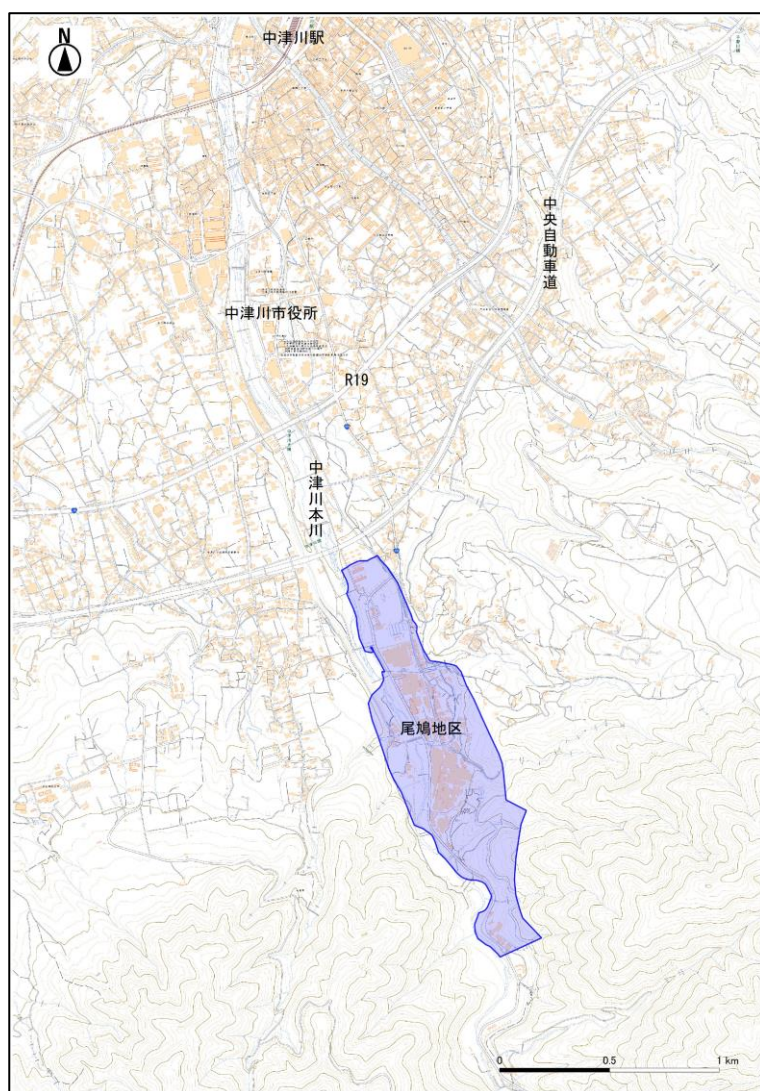


図 2-1 尾鳩地区位置図

尾鳩区組織図

役職	
区長	
副区長兼第1町内会長	
会計	
第2町内会長	
第1町内会	1班班長
	2班班長
	3班班長
	4班班長
	5班班長
	6班班長
第2町内会	A棟班長
	B棟班長
合計世帯数	
尾鳩区福祉関係	民生委員・児童委員
	福祉推進員責任者
	福祉推進員

図 2-2 尾鳩地区組織図

2 基本的な考え方

2.1 基本方針

私たちの住む尾鳩地域は中津川の扇頂部に位置し、地形的に土砂災害のリスクの高い場所といえます。

高齢化が進み、防災情報の入手や避難の際の助けを必要とする人が多いという地域の現状を踏まえて、いつ、誰が、何をできるかについて「尾鳩地区防災に関する話し合い」の場を通じて話し合い、「中津南地区尾鳩地域地区防災計画」としてとりまとめました。

計画に沿った活動の実践を通じ、要配慮者を含めた地域全員の防災、減災を目指して地域の防災力を高めていきます。

2.2 活動目標

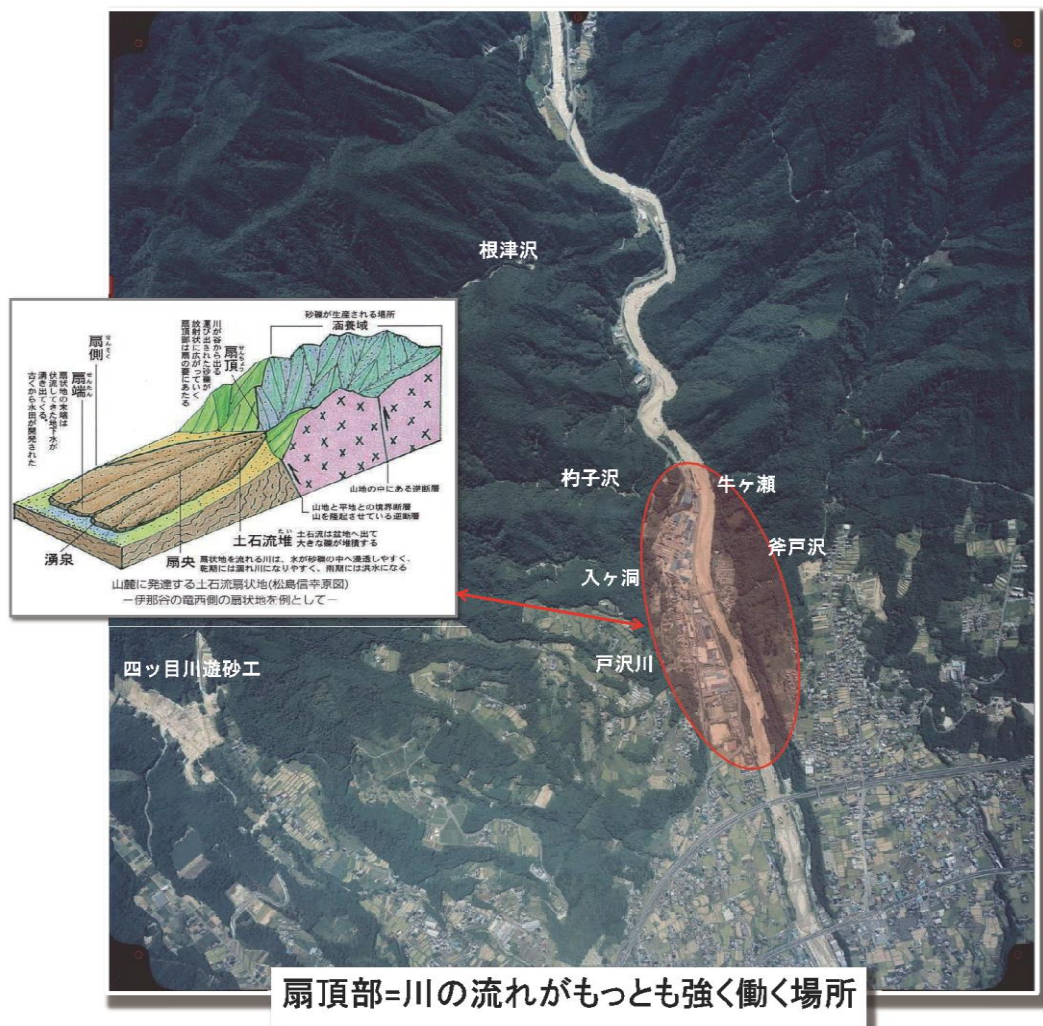
- ・ 防災情報を地区の中で共有し避難の判断に役立てます
- ・ 早めの避難を心がけ、地区外のサンライフに避難します
- ・ 要配慮者の避難について、早めの避難ができるよう家族、地区、中津川市、社会福祉協議会、事業所等と普段から連携を図ります
- ・ 王子エフテックス事務所を、地区外に逃げ遅れた場合の次善の策の避難場所として利用します。
- ・ 避難訓練を毎年実施し、継続して計画の見直しを行います

3 地区の特性

3.1 自然特性

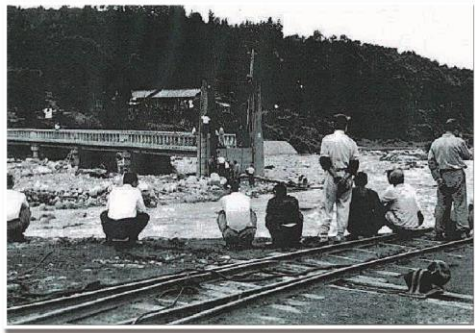
中津地区の航空写真を見ると、中津地区は、恵那山(標高 2,191 m)と前山からの土砂を中津川と四ッ目川が運び扇状地をつくっていることが良くわかります。また、そのむかし中津川駅周辺は、沼地であり、現在も中津川駅近くでは湧水が出ていることから、扇状地の扇端であると推測できます。中津川の右岸と四ッ目川左岸には、河岸段丘が存在することから、中津地区は、河川の中と考えることができます。

そのため、中津川の増水が予測される場合には、地区の外に逃げるのが重要になります。



出典：中津南地区尾嶋地域の防災
「中津川市尾嶋地域防災を考える会」発行

図 3-1 尾嶋地域の地形

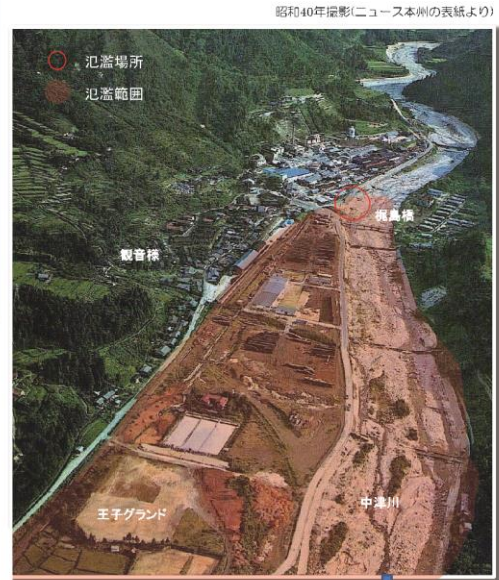


梶島橋半壊



孤立した集落

がけ崩れ



(王子エフテックス株式会社中津工場提供) 国道363号



現在の恵山荘横辺り(工場側)

出典：中津南地区尾鳩地域の防災

「中津川市尾鳩地域防災を考える会」発行

図 3-2 昭和32年6月27日の
中津川氾濫時の様子

恵那山の山頂から、木曾川にかけての一带は、花崗岩類が分布します。花崗岩類は、地下の深いところでマグマが冷えて固まったもので、日本各地にみられます。中津川流域や前山付近もこの地質が分布しています。

花崗岩は性質の異なる鉱物で構成されており、それぞれの鉱物は熱に対する膨らみ方に差があるため、直射日光にあたるような温度差の大きい所では粒子間の結合が弱まって、表面がぼろぼろになりやすい、つまり、風化しやすいという特徴があります。

風化が進むと、非常にもろく崩れやすくなり、このようにして生じた白く粗い砂を真砂土（マサッチ）あるいは単に真砂と呼んでいます。中津川流域にも花崗岩類がマサ土化している場所がたくさんあるので、中津川流域は地質的にみると土砂災害のリスクの高い場所という事が言えます。

尾鳩地区の災害事例

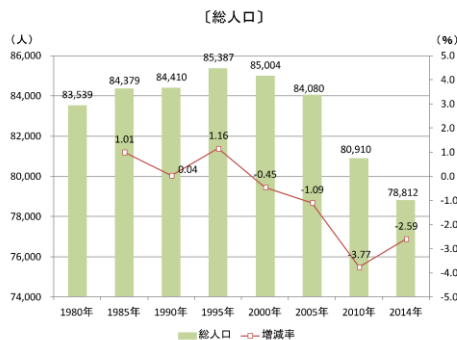
- ・昭和 7年 8月 26日 四ツ目川災害時に戸沢川、入ヶ洞から土石流発生
- ・昭和 32年 6月 27日 中津川氾濫
- ・平成 12年 9月 11日～12日 川上宮前橋、梶島橋が浸水

3.2 社会特性

中津川市の総人口の推移をみると、平成7年の85,387人をピークに減少に転じ、その後、減少基調で推移しています。増減率をみると、平成26年で若干上昇しましたが、平成7年のピーク以降、増減率の低下の割合が大きくなる傾向にあります(図 3-3)。

年齢別にみると、団塊の世代となる60～64歳、65～69歳で他の年代より人数が多くなっている一方、就学や就職時における若い世代の市外流出の影響がある20～24歳、25～29歳の年代の人数は少なくなっています(図 3-4)。

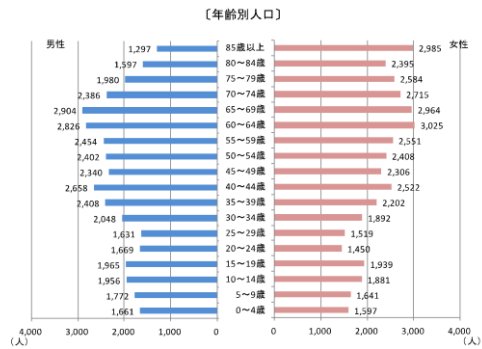
尾鳩地区もこれらに類する推移であったと推測できます。



資料：総務省「国勢調査」(1980-2010)、岐阜県「人口動態統計調査」(2014)

出典：総務省「国勢調査」(1980-2010)
岐阜県「人口動態統計調査」(2014)

図 3-3 中津川市総人口の推移



資料：岐阜県「人口動態統計調査」(2014)

出典：岐阜県「人口動態統計調査」
(2014)

図 3-4 年齢別構成

3.3 想定される災害

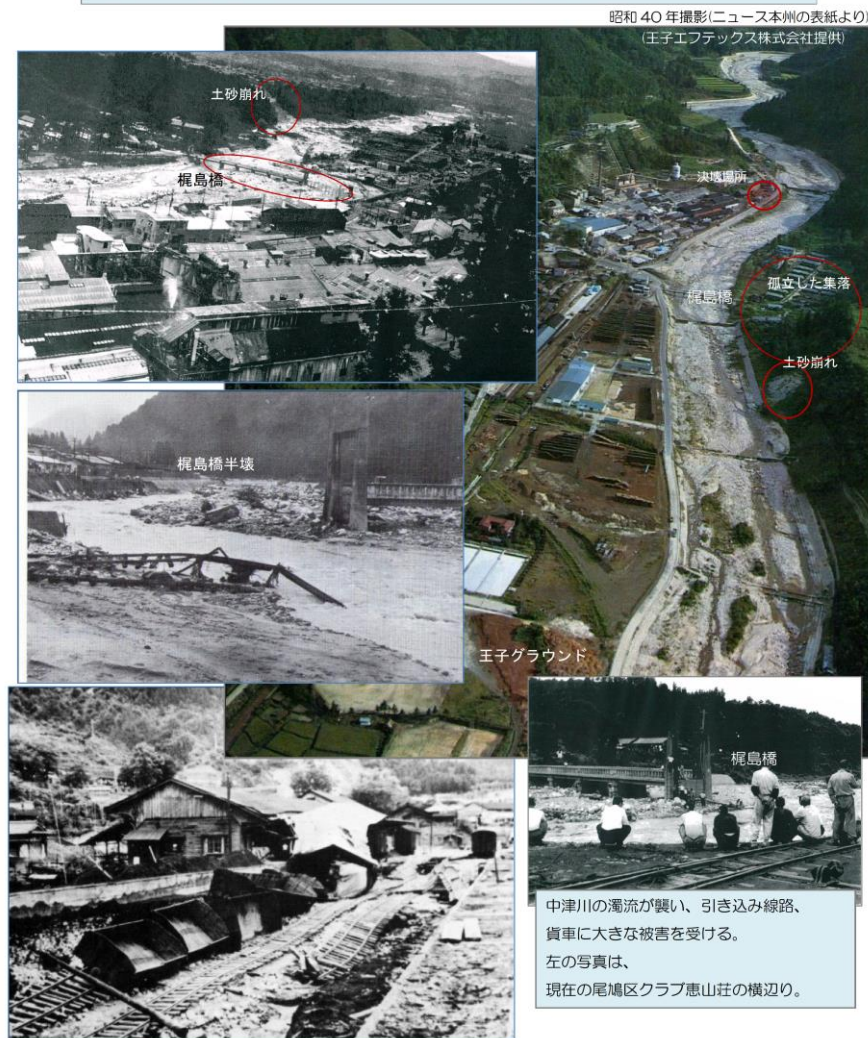
3.3.1 水害(浸水・河岸侵食)

大雨などによって中津川の水位が上昇することにより、川からの水が居住地に流れこんだり、川のそばが侵食されるおそれがあります。

図 3-5 に昭和 32 年 6 月 27 日に発生した尾鳩地区での洪水被害写真を掲載します。この日の最大時間雨量は 105mm(木曾川上流域)、連続雨量 355.8mm、日雨量 228.9mm でした¹。今後、同規模の降水がある場合は、中津川本川が氾濫するなどの被害が起こる可能性があると考えています。

〈4-4〉 中津川中流・尾鳩地域の被害 (昭和 32 年 6 月 27 日)

中津川の中流、中津川の扇頂部にあたる牛ヶ瀬付近から堤防が決壊、中津川に掛かる梶島橋が半壊、当時本州製紙の引き込み線および貯木場が水害の被害を受け、更に中村上地域の田畑が水害の被害を受ける。尾鳩区民は、観音様が祀られている高台へ避難した。



出典：中津南地区尾鳩地域の防災

「中津川市尾鳩地域防災を考える会」発行

図 3-5 昭和 32 年 6 月 27 に発生した洪水被害の様子

¹ https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/senmon/sabou0202/kiso/kiso_saigai.html
(多治見砂防国道事務所ホームページ)

平成 12 年 9 月 11 日～12 日の東海豪雨の影響で、尾鳩地区の川上宮前橋と梶島橋が浸水しました。図 3-6 に被災写真を掲載します。中津川雨量計のこの期間の最大時間雨量は 33mm、連続雨量 331mm、日雨量 171mm でした。



図 3-6 平成 12 年 9 月 11 日～12 日の東海豪雨時の宮前橋の様子

平成 25 年 9 月 16 日、台風 18 号が接近した際の中津川本川の状況を図 3-7 に示します。この日の最大時間雨量は 46.5mm、総雨量は 102.5mm でした(気象庁データベース)。今後、同規模の降水がある場合は、同じように中津川本川が増水することが推測できます。中津川本川が増水することで、氾濫の危険性が高まります。



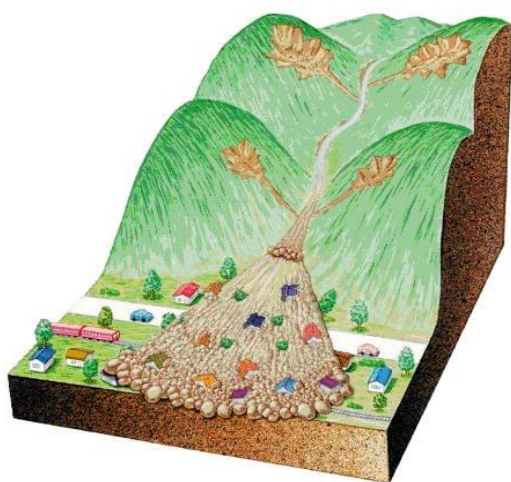
図 3-7 平成 25 年 9 月 16 日の中津川（梶島橋直上）の状況

3.3.2 土砂災害

尾鷲地区で発生するおそれのある土砂災害には土石流、がけ崩れ、地すべりがあります。

土石流とは、山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速 20~40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

尾鷲地区内にある土石流の発生の危険性があり、人家に被害を及ぼす恐れのある溪流には戸沢川、入ヶ洞、斧戸沢、杓子沢などがあり、土石流の土砂災害(特別)警戒区域に指定されています。

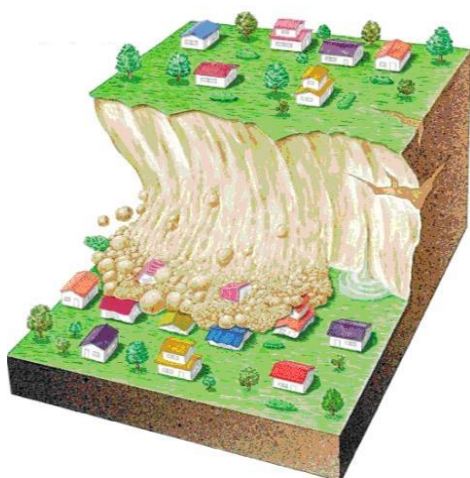


出典：「平成 30 年 7 月豪雨災害」(広島県,2019)

図 3-8 土石流による被災イメージ(左)と実例

崖崩れとは地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

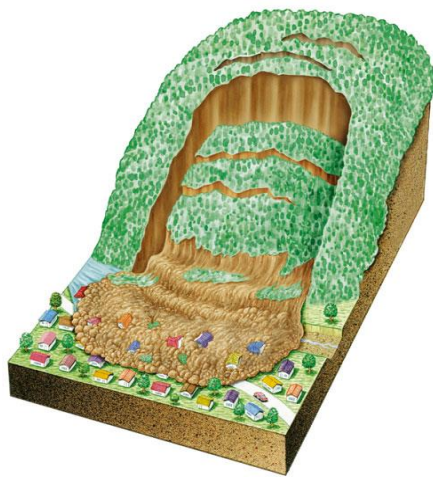
尾鷲地区内には、1、2、4 東側の斜面、5 東側の斜面および 3 西側の斜面は、崩壊の恐れがある斜面として、急傾斜地の土砂災害(特別)警戒区域に指定されています。



出典：「平成 30 年 7 月豪雨災害の記録」(広島市,2019)

図 3-9 がけ崩れによる被災イメージ(左)と実例

地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます²。

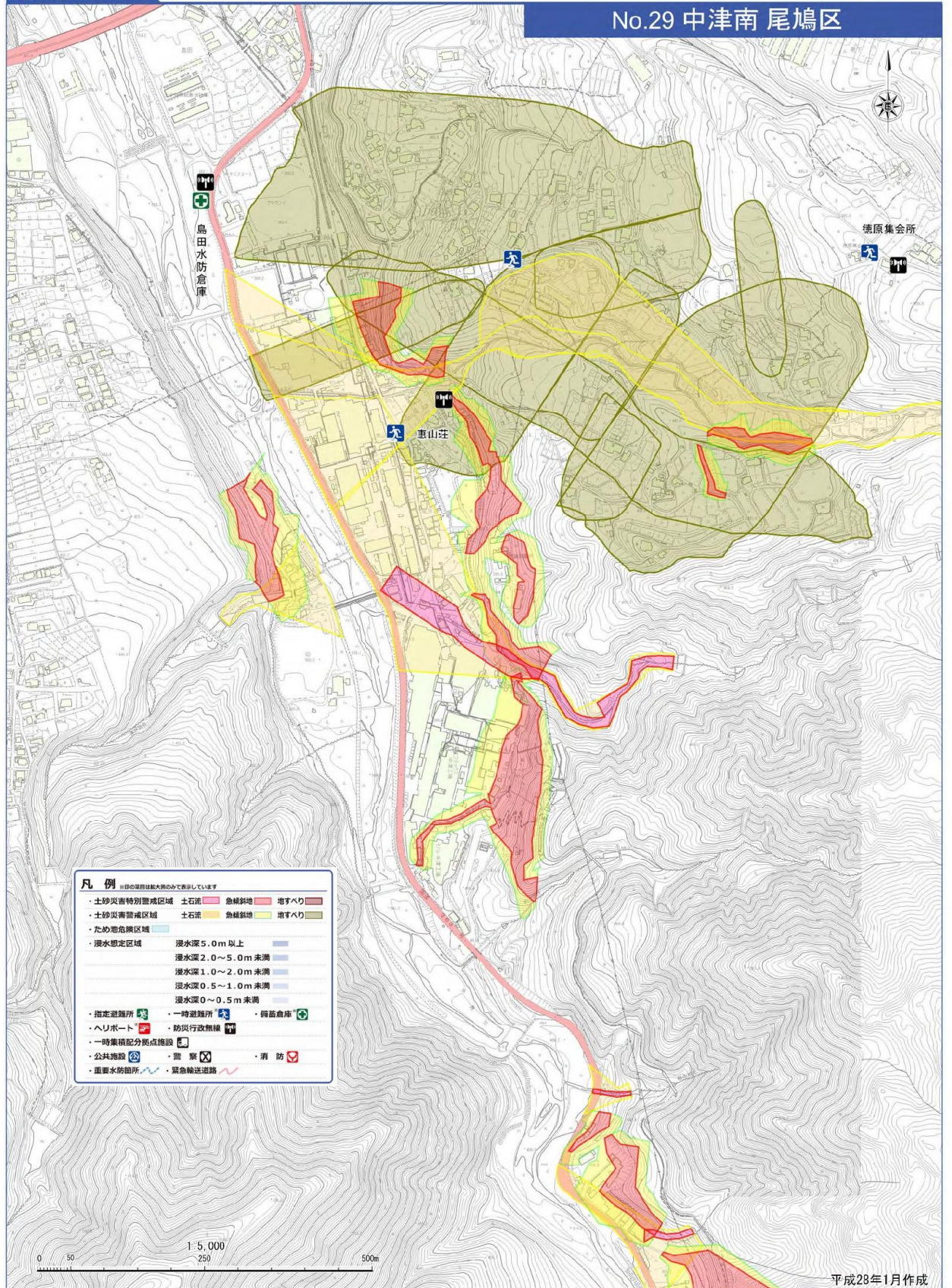


出典：「地附山地すべり災害」（長野県,1993）

図 3-10 地すべりによる被災イメージ(左)と実例

図 3-11 は土砂災害警戒区域等に指定された土砂災害のある区域を示したハザードマップです。なお、本計画では、土砂災害の発生までに逃げる時間の余裕がなく、事前に避難が必要となる事象(土石流、がけ崩れ)を対象としています。

² 「砂防の役割と対策」（国土交通省、<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/yakuwari.html>）



出典：中津川市

図 3-11 中津川市土砂災害ハザードマップ

図 3-12 に示す図は、昭和 7 年 8 月 26 日に発生した土石流が現在起こった場合に被害を及ぼす可能性がある範囲を推定したものです。

■ 戸沢川で起きた土石流災害

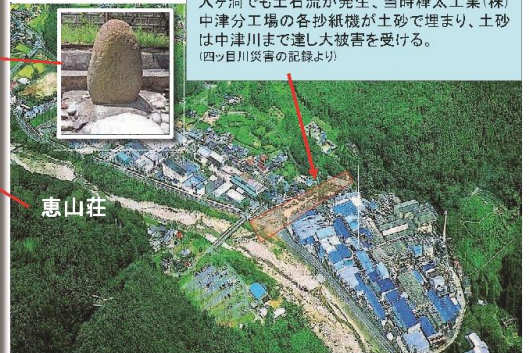
昭和7年8月26日尾鳩入口戸沢の崩壊による土砂は、樺太工業の軌道及び水路を超えて中津川に達し推積高さ1丈余約50間に及び、一部は、**附近家屋3戸を埋没、7戸床上浸水、6戸床下浸水を現せり。**
 (四ッ目川災害の記録誌より)
 ☆ 1丈:3.03m ☆1間:1.818m (樺太工業は現在の王子エフテックス)



記録誌に残る文言から推測すると、土石流は現在の第二砂防堰堤付近から広がり左図の赤斜線部と推測されます。
 また、家屋三戸の埋没は、尾鳩橋付近にあった建屋です。
 樺太工業の軌道とは、現在の尾鳩橋と中津川の間には中津川駅からの引き込み線があり、このこととされます。
 戸沢川下流域には現在ニヶ所に水神様が祀られています。
 これは、昭和七年八月二十六日の土石流災害後「災害が起こらないように」と祀られたものと推測します。



土石流は、
 ・戸沢川
 ・入ヶ洞
 ・根津沢
 でも発生しています。



入ヶ洞でも土石流が発生、当時樺太工業(株)中津分工場の各抄紙機が土砂で埋まり、土砂は中津川まで達し大被害を受ける。
 (四ッ目川災害の記録誌より)

出典：中津南地区尾鳩地域の防災
 「中津川市尾鳩地域防災を考える会」発行

図 3-12 昭和 7 年 8 月 26 日に発生した土石流被害の範囲(推定)

3.3.3 深層崩壊

深層崩壊は、斜面の基盤まで崩壊するため、斜面に森林があっても発生します。崩壊斜面下方に河川がある場合、深層崩壊により、河道が閉塞することにより、くずれたり流されたりした大量の土砂が、川をふさいで水の流れをせき止められることがあります。これを河道閉塞といいます。河道閉塞がおこると上流側で水がたまり天然ダムが形成されます。天然ダムが決壊すると中津川での土石流が発生し、下流部で河川が氾濫するおそれがあります。図 3-13 に深層崩壊の事例を示します。また、図 3-14 に深層崩壊溪流レベル評価マップを示します。図 3-14 によると、中津川本川の上流部には、深層崩壊が発生する相対的な危険度がやや高い溪流が分布することが分かります。

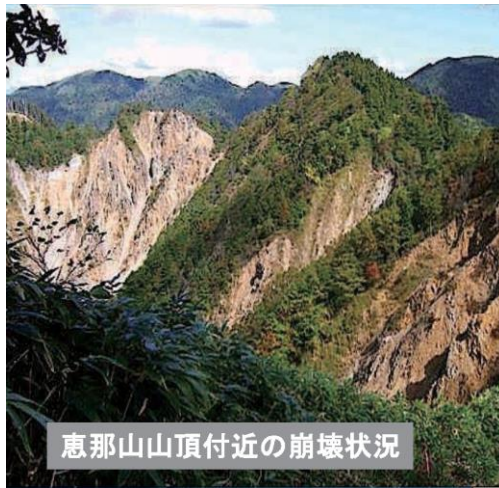
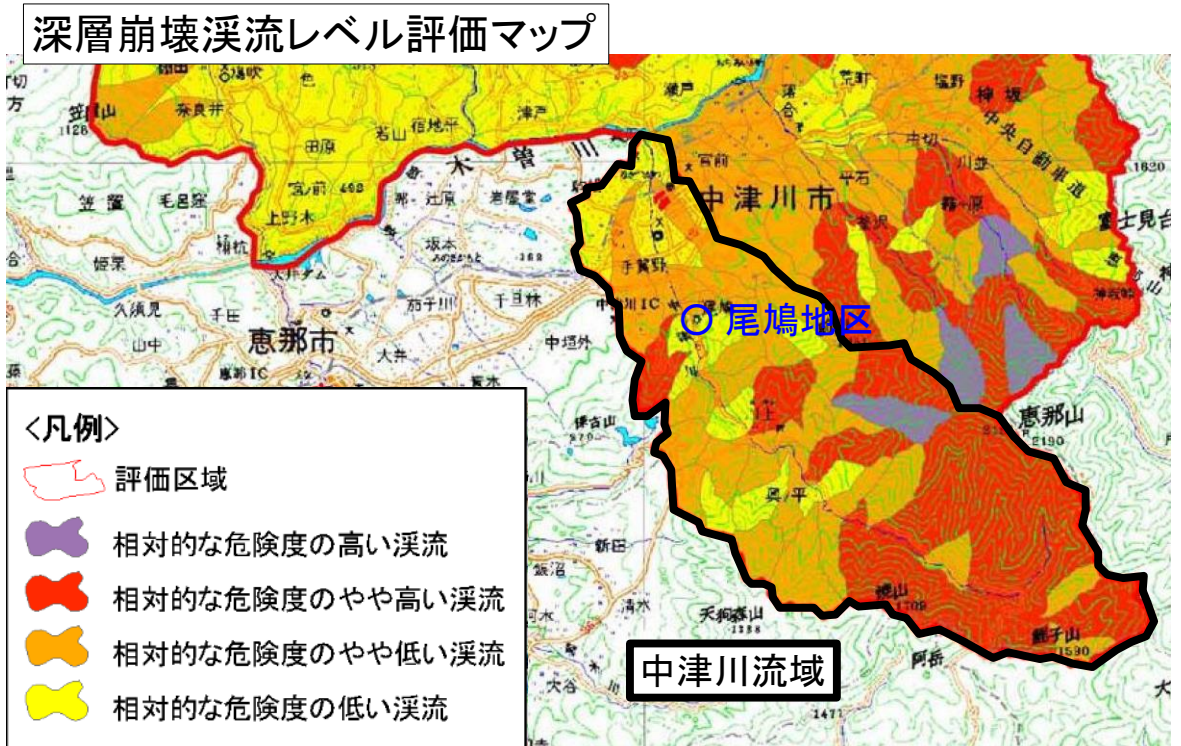


図 3-13 深層崩壊の事例



出典：「深層崩壊に関する溪流（小流域）レベルの調査について」
中部地方整備局

図 3-14 深層崩壊溪流レベル評価マップ

3.4 防災マップ

令和元年10月31日に行った「尾嶋地区防災に関する話し合い」で地区内の危険箇所等について話し合いました。尾嶋地区が被災する可能性がある災害として表 3-1 にまとめています。この結果を基に、令和元年12月8日にまちあるきを行い、「身近に感じる危ないところ(赤色で表記)」、「地区内で感じられる前兆情報(橙色で表記)」等を確認しました。これらをまとめたものを話し合い防災マップとしてまとめました(図 3-15)。避難については、指定避難場所であるサンライフに避難することを想定していますが、避難するまでに十分な時間がない場合の避難場所として、王子エフテックス(株)の事務所社屋や社宅、独身寮の上層階へ避難できるように、防災マップに記載しています。

防災マップを使って、自宅の位置、大雨のときに危険になる場所、避難場所を確認します。

自分が住んでいる地域にどんな危険性があるのかを把握しておくことで、いざという時の早めの行動につながります。

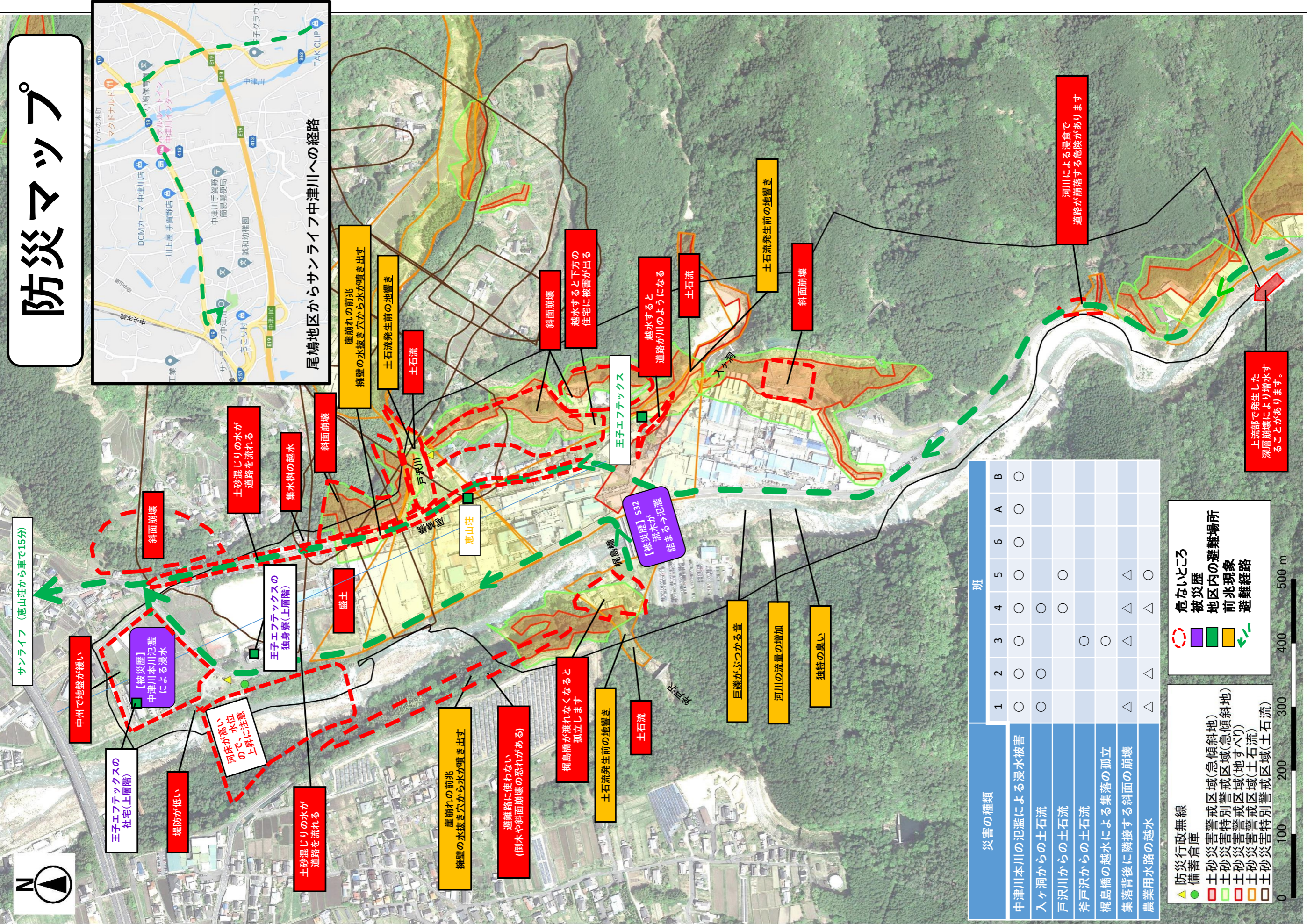
表 3-1 尾嶋地区が被災する可能性がある災害

災害の種類	班							
	1	2	3	4	5	6	A	B
中津川本川の氾濫による浸水被害	○	○	○	○	○	○	○	○
入ヶ洞からの土石流	○	○		○				
戸沢川からの土石流				○	○			
斧戸沢からの土石流			○					
梶島橋の越水による集落の孤立			○					
集落背後に隣接する斜面の崩壊	△		△	△	△			
農業用水路の越水	△	△		△	○			

○：被災する可能性がある(全世帯) △：被災する可能性がある(一部世帯)

防災マップ

尾嶋地区からサンライフ中津川への経路



災害の種類	班					
	1	2	3	4	5	6
中津川本川の氾濫による浸水被害	○	○	○	○	○	○
入ヶ洞からの土石流	○	○	○	○	○	○
戸沢川からの土石流						
奔戸沢からの土石流						
梶島橋の越水による集落の孤立	△	△	△	△	△	△
集落背後に隣接する斜面の崩壊	△	△	△	△	△	△
農業用水路の越水	△	△	△	△	△	△

- ▲ 防災行政無線
- 備蓄倉庫
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)

- 危ないところ
- 被災歴
- 地区内の避難場所
- 前兆現象
- 避難経路



図 3-15 防災マップ

4 防災活動の内容

4.1 避難行動単位

同一の避難行動をとる3つの避難行動単位を図4-1に示します。

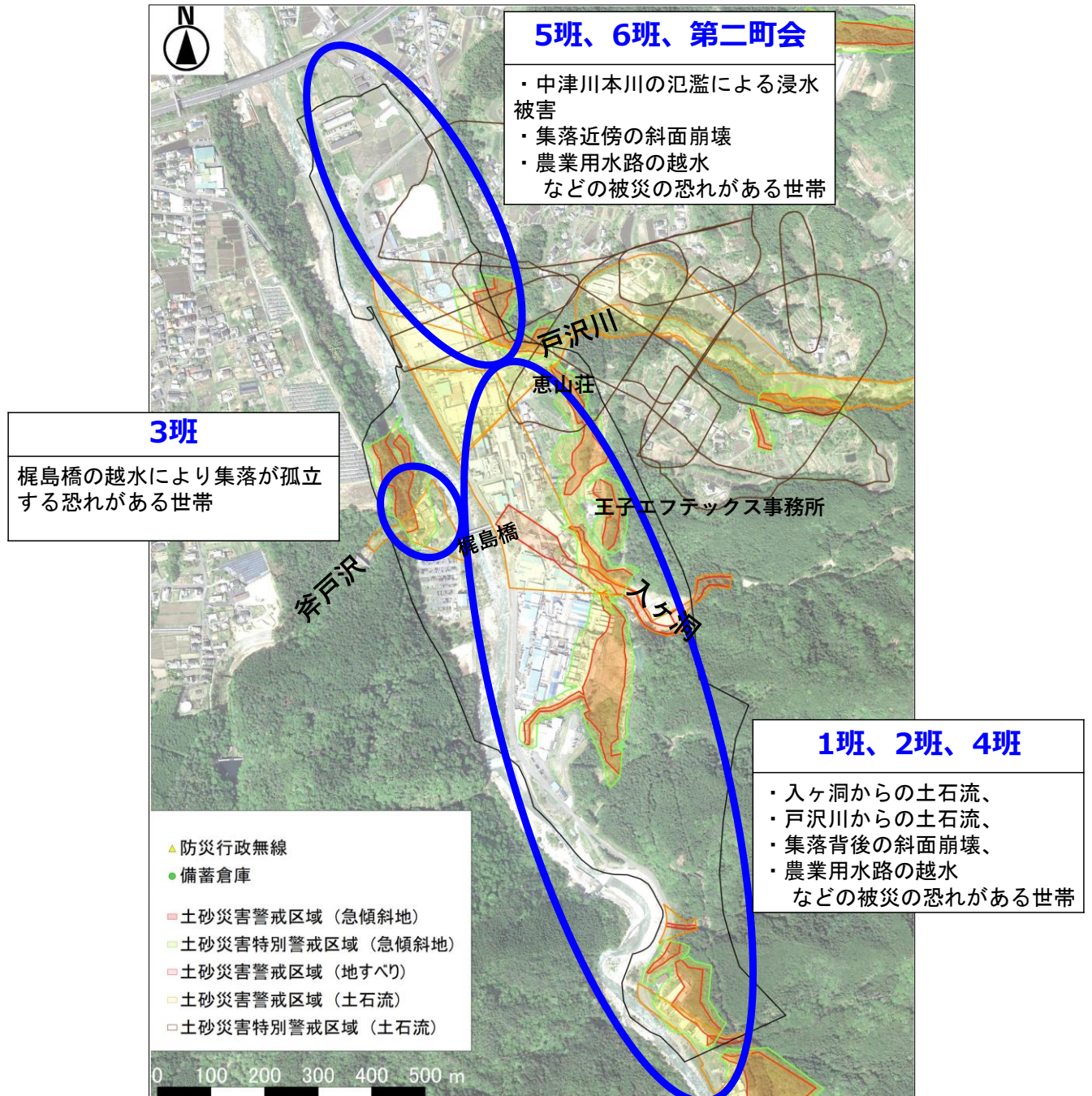


図 4-1 同一の避難行動をとる3つの避難行動単位

4.2 防災情報の共有

地区の高齢化に伴い、自ら防災情報の入手に手助けが必要な人がいることから、「避難情報」、「気象情報」、「地区の情報」等の情報共有方法について予め定めます。

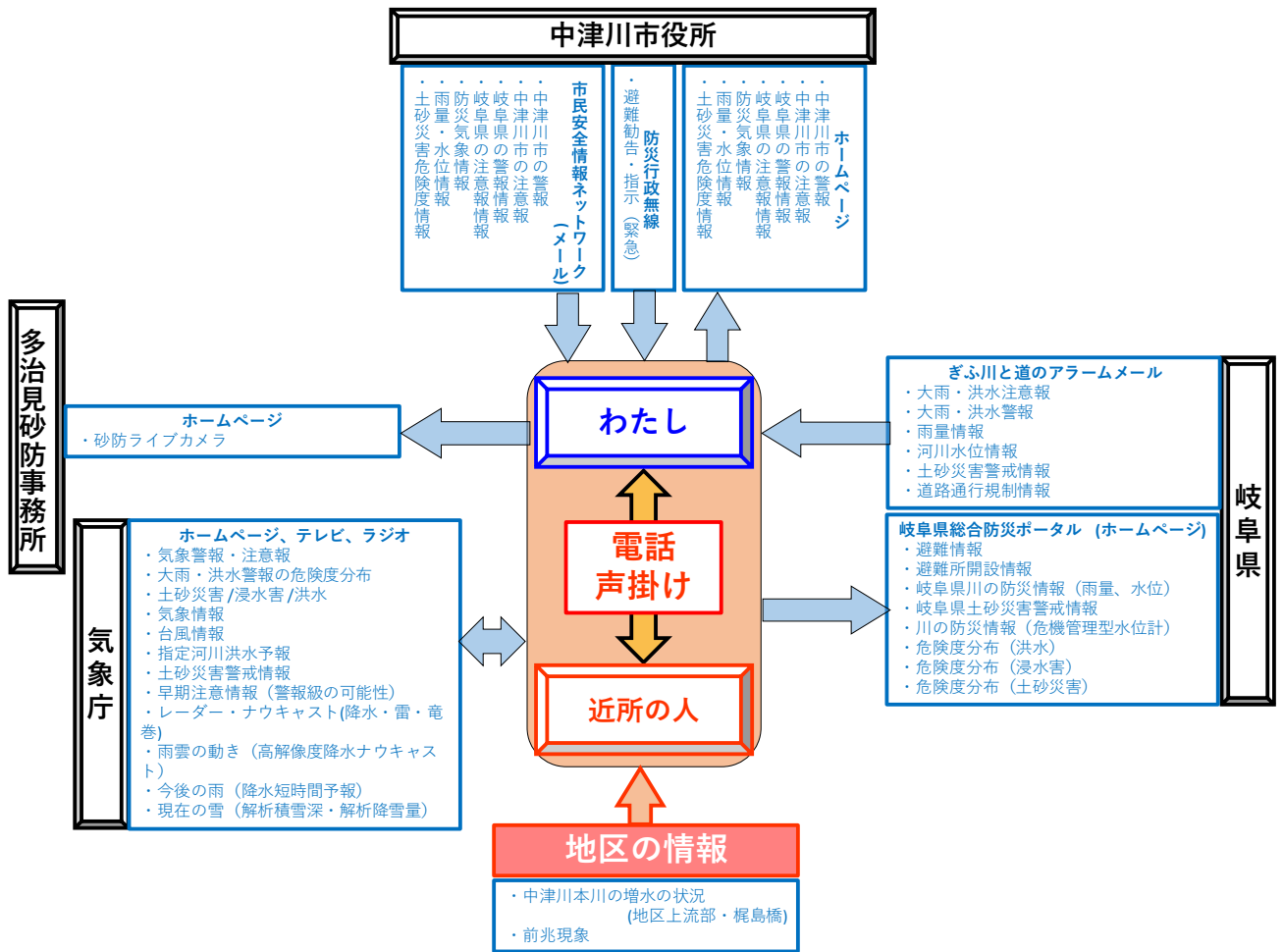


図 4-2 情報伝達図

4.2.1 防災情報の収集

防災情報はすべての住民ができる限り、情報を収集する努力をします。防災情報は主に、防災行政無線、テレビ(データ放送)、インターネット等で入手することができます。

テレビのデータ放送やインターネットへのアクセスが難しい住民は、防災行政無線の戸別受信機の設置を検討します(費用負担があるため、市と相談しながら進めます)。

避難のきっかけとなる防災情報には次のようなものがあります。

(1) 避難情報

1) 情報の種類

- ・ 避難準備/高齢者等避難開始
- ・ 避難勧告
- ・ 避難指示(緊急)

2) 収集方法

- ・ 市民安全情報ネットワーク(メール)
- ・ 防災行政無線
- ・ テレビ(データ放送)
- ・ インターネット

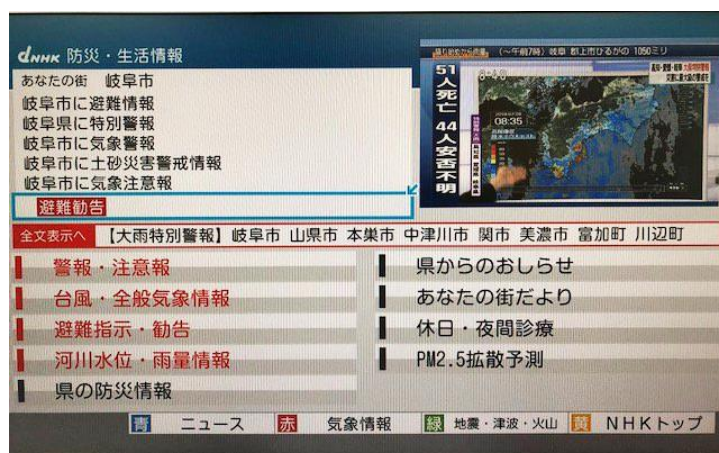


図 4-3 データ放送の画面

3) 避難行動単位内での情報共有方法

- ・ いつから(要配慮者の有無によって避難準備情報から)
- ・ どのように(声かけ、電話)

※行政からの情報を的確に認識し、安全側の行動を心がけます。中津川市では対象範囲を明らかにして避難情報を発令しています。そのため、データ放送等の情報で「中津川市に避難勧告」と表示された場合も、尾鷲地区が対象でない可能性があるため、避難情報を中津川市のどこを対象にしているのかを市民安全情報ネットワーク(メール)等で確認する必要があります。

(2) 気象情報 (気象庁)

1) 情報の種類

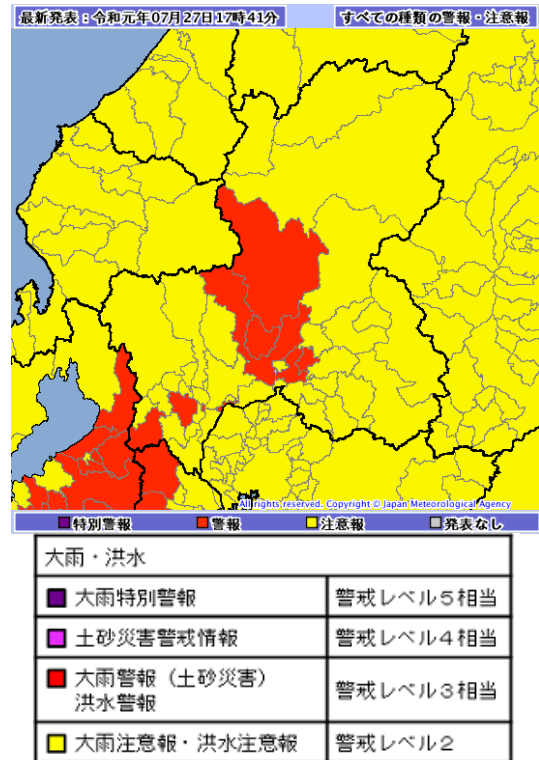
- ・大雨注意報・洪水注意報
- ・大雨警報(土砂災害)・洪水警報
- ・土砂災害警戒情報
- ・大雨特別警報
- ・記録的短時間大雨情報

2) 収集方法

- ・市民安全情報ネットワーク(メール)
- ・テレビ(データ放送)
- ・インターネット

3) 避難行動単位内での情報共有方法

- ・各自で情報収集



出典：気象庁ホームページ

図 4-4 注意報・警報

(3) 土砂災害危険度判定メッシュ情報

4) 情報の種類(土砂災害危険度判定メッシュ)

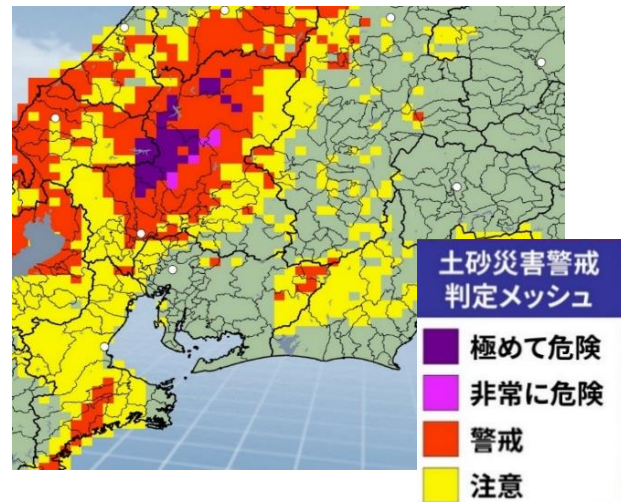
- ・黄色メッシュ：注意
- ・赤色メッシュ：警戒
- ・桃色メッシュ：非常に危険
- ・紫色メッシュ：極めて危険

5) 収集方法

- ・市民安全情報ネットワーク(メール)
- ・テレビ(データ放送)
- ・インターネット

6) 避難行動単位内での情報共有方法

- ・インターネット等で情報収集した人が声掛け、電話



出典：気象庁ホームページ

図 4-5 危険度分布 (土砂災害の危険度)

(4)地区の情報

7) 情報の種類

- ・雨量情報：「かおれ」、「四ツ目川遊砂工」、「サンライフ中津川」の時間雨量と降り始めからの雨量を参考にします。
- ・水位情報：「中津川」、「中津川(手賀野)」を参考にします。
- ・前兆現象

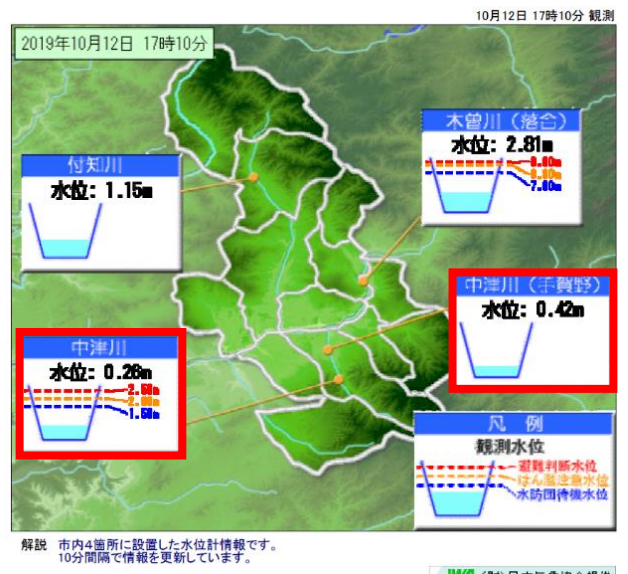
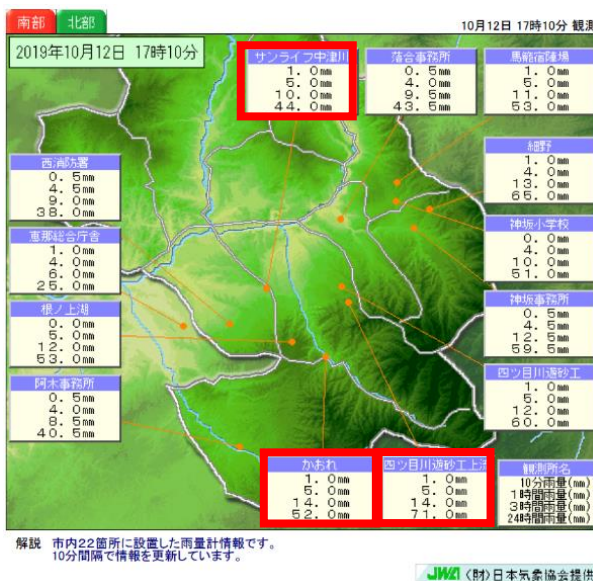
8) 収集方法

- ・テレビ(データ放送)
- ・インターネット(中津川市防災気象情報)

※川の水位等は安全を確認したうえでその状況を把握する。川の水位を見に行くなど、自らが情報を取りに行くことは非常に危険なため、絶対に行きません。

9) 避難行動単位内での情報共有方法

- ・インターネット等で情報収集した人が声掛け、電話
- ・前兆現象を確認した場合、速やかにその場を離れ、地区の住民に声掛けや電話をします。また、中津川市役所にも連絡します。



出典：中津川市防災気象情報ホームページ

図 4-6 データ放送の画面

(5)河川カメラ

10) 情報の種類

- ・砂防ライブ(多治見砂防事務所)
- ・河川カメラ(岐阜県)

11) 収集方法

- ・インターネット

12) 避難行動単位内での情報共有方法

- ・インターネット等で情報収集した人が声掛け、電話



出典：多治見砂防国道事務所ホームページ

図 4-7 河川カメラの画像

4.2.2 防災情報の伝達

防災情報の伝達方法としては、尾鳩地区内での電話連絡やメールの一斉配信が有効です。今後、連絡網の整備を行い、防災情報を尾鳩地区内で円滑に共有できるように努めます。

さらに、中津川本川の河川が増水した場合に河川近傍の住人が情報を収集・発信し、尾鳩地区内で情報が共有できるよう体制構築に努めます。

また、近年、突発的な短時間の豪雨が増えていることから、降雨予測情報をテレビやインターネットから入手します。

4.3 避難行動計画(タイムライン)

尾鳩地区の避難行動計画を作成しました(図 4-8)。

避難行動計画には、

- ・行動のきっかけ (いつ)
- ・対応の役割分担 (だれが)

・どのように行動するか (何をやる、どこへ行く) について、雨の降り方や避難警戒レベルの変化に合わせた行動を時系列で記載しました。

近年、突発的な短時間の豪雨が増えています。避難に余裕がない場合の対応についても事前に確認が必要です。

・避難するのに十分な時間があると考えられる場合	⇒ 【サンライフ】
・十分な時間はないが、近くの安全な場所に避難する場合	⇒ 【王子エフテックス(株)の事務所、社宅、独身寮】
・万が一逃げ遅れ、避難が危険な場合	⇒ 【自宅の安全な場所】 命を守るための最善の行動 (土砂災害：山からできるだけ離れた部屋などへの移動) (洪水：屋内の高いところ)

なお、地区の危険信号の目安を次の通りとして、声掛けを行い、全員避難します。

- ・降り始めからの雨量が 250mm を超えた場合
- ・河川ライブ中津川で著しく水位が上昇した場合

「自らの命は自らが守る」意識を持って、自らの判断で避難行動をとります。

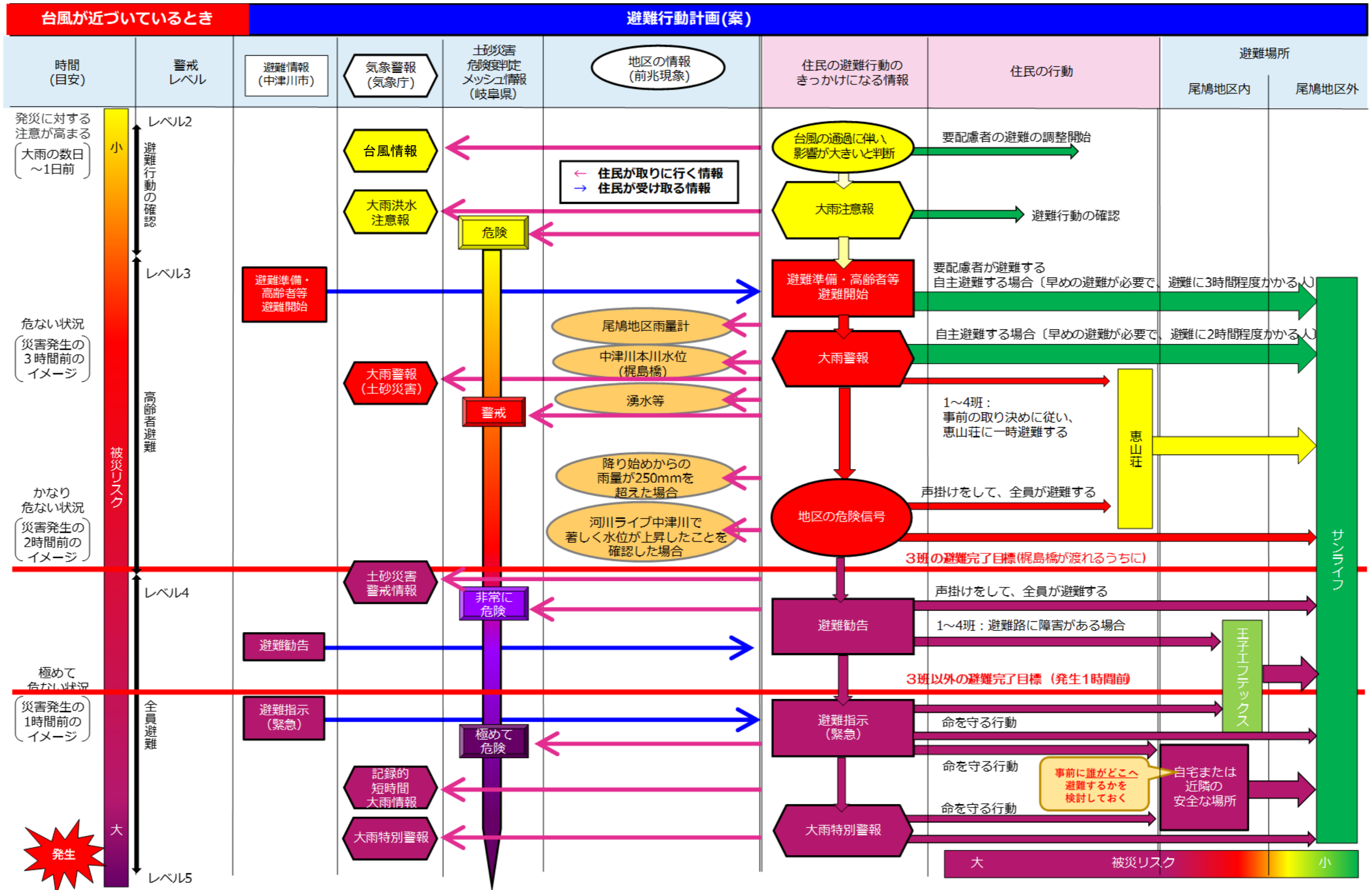


図 4-8 尾鳩地区の避難行動計画

4.4 要配慮者支援

要配慮者とは、高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など、災害時において特に配慮を要する人のことです。要配慮者は避難に時間がかかる場合があります。そのため、通常の避難のきっかけより早く避難行動を開始します。

尾鳩地区では、要配慮者への支援として「声掛けをして逃げる」というルールがあります。今後は、家族が仕事などで外出しており、子どもが1人で在宅する場合など支援が必要な要配慮者への支援方法を検討します。

中津川市から避難勧告・避難指示が発令された場合、近隣で災害が発生した場合など、被災リスクが高まった場合や地区外に逃げ遅れた場合などには、地区住民同士で助け合い、避難時に支援が必要な人を安全な場所へと避難させます。

さらに、円滑に要配慮者を支援できるように、住民支えあいマップを作成し、随時更新します。

今後中津南地区社協と協力し、住民流支えあいマップの作成するための準備を行います。支えあいマップには、以下の項目を記載することを計画しています。

1. 命のバトン配布者
2. 70歳以上の方
3. 要配慮者
4. 介護認定者3以上の方
5. 90歳以上の方
6. 高齢者ふれあいサロンへの参加者
7. 70歳以上で一人暮らしをされている方
8. 集会所の位置
9. 定期バスのバス停、バス路線

4.5 「介護認定」3以上の方の支援

尾鳩地区には、要配慮者のうち、一人での避難が困難なため、避難時に支援が必要な人（要介護認定3以上の人など）がいらっしゃいます。

尾鳩地区では、このような方々が安全に避難できるよう「避難時に支援が必要な人のための避難行動計画」を作成しています（図 4-9 参照）。

この避難行動計画では、台風接近時の事前調整（情報収集や避難先の確保など）をご本人やご家族が担当のケアマネージャーと調整することと位置付けています。

中津川市から避難勧告等が発令されるなど、被災リスクが高まった場合や、すでに災害が発生し地区外に逃げ遅れた場合などには、地区住民の皆さんで助け合い、避難時に支援が必要な人を安全な場所へと避難させましょう。

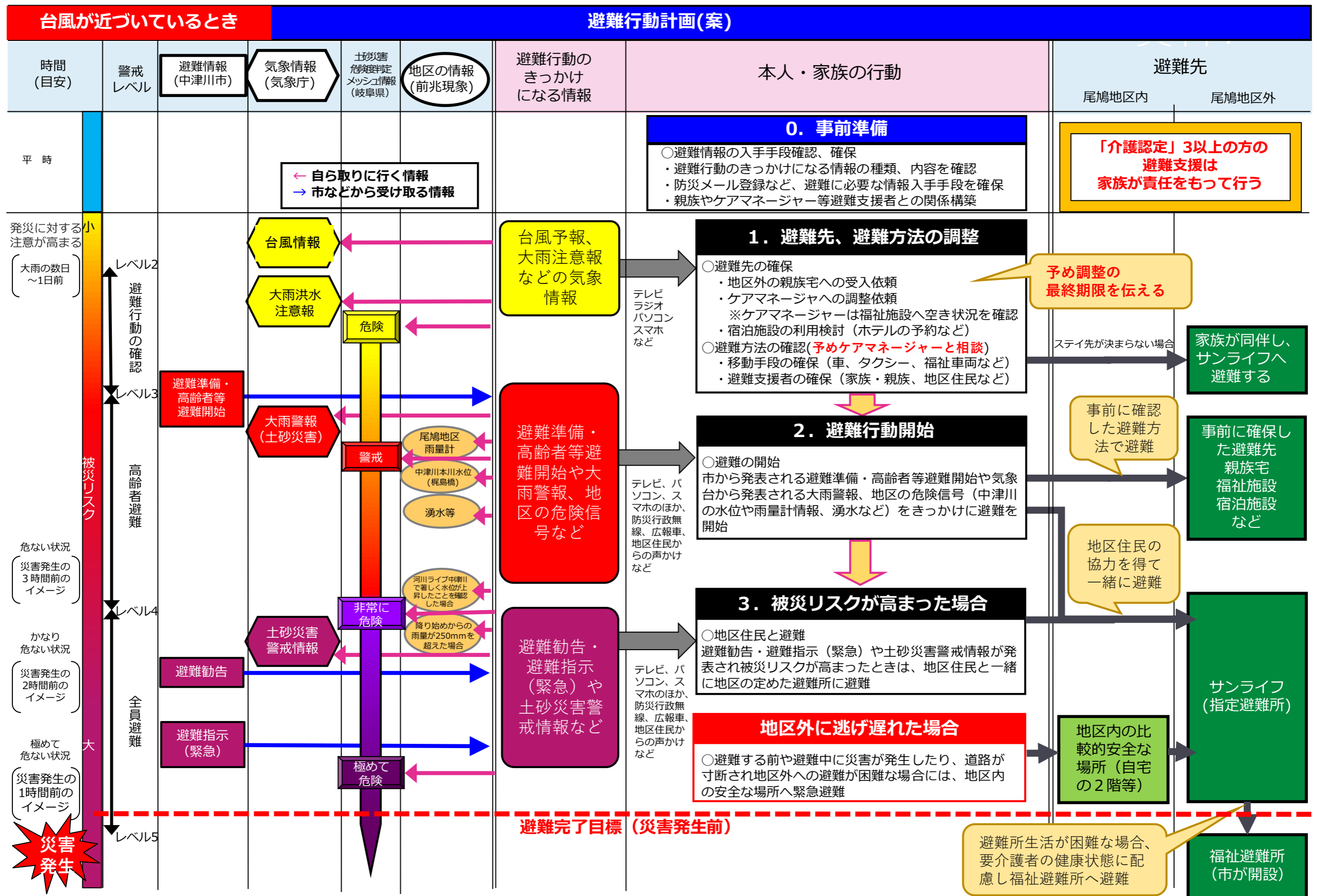


図 4-9 尾鳩地区の避難行動計画(「介護認定」3以上の方)

4.6 専門家の助言

地区防災計画の作成・見直しにあたっては、下記に想定される内容について、土砂災害の専門家に助言・支援を求め、連携を図っていきます。

- ・避難行動のきっかけとなる避難情報、気象情報、地区の情報等の情報共有について
- ・近年の異常気象に伴う避難行動計画について
- ・要配慮者、介護認定者の避難方法について
- ・地区防災計画の見直しに反映できる、地区が主体となった避難訓練と検証方法について

表 4-1 専門家の連絡先

名 称	連 絡 先
多治見砂防国道事務所	
岐阜県砂防課	
砂防ボランティア協会	
名古屋大学 田中准教授	

※連絡先は各機関に確認後、了承を得たのちに記載します。

4.7 国・県、市町村、関連団体、地元企業等との連携

今後も、地域の防災力が高まるよう、国・県・市町村、関連団体、地元企業等との連携を進めていきます。下記に話し合いで挙げた具体例を記載します。

行政	<ul style="list-style-type: none">・梶島橋への水位標の設置・サンライフの避難資機材の整備・避難所体験宿泊
中津南地区社会福祉推進協議会	<ul style="list-style-type: none">・住民流支え合いマップの作成、更新
王子エフテックス(株)	<ul style="list-style-type: none">・梶島橋付近の夜間照明の常時点灯・避難場所の提供・避難時の支援（人材、車両など）

5 実践と検証

5.1 防災訓練の実施・検証

毎年実施されている中津川市総合防災訓練に積極的に参加し、防災訓練後に、防災訓練で分かった地区の課題について話し合う場を持ちます。必要に応じて、行政関係者や砂防ボランティア協会等の専門家の助言を得るように努めます。住民一人一人が、地区の抱える課題を把握し、地区防災計画の改善に努めます。

具体的には表 5-1 の年間計画に従って行動します。

表 5-1 年間計画

時期	梅雨前	梅雨～台風時期	乾季	年度末
行動	避難訓練	計画の実践	実践の振り返りと課題の抽出	計画の見直し

5.2 防災意識の普及啓発

防災意識の普及啓発のために、中津川市総合防災訓練、中津南地区防災フェスティバル等に積極的な参加を呼び掛けます。

尾鳩地区ではこれまでに、防災活動として、防災パトロール、防災学習、草刈、清掃活動などの防災活動を行ってきました。今後もこれらの活動を継続し、避難所体験宿泊など新しい活動を取り入れながら、さらなる充実を図ることで、防災意識の向上に努めます。

また、家族や地域内の人たちと防災について話し合う機会を増やすよう務め、防災を意識づけるよう心がけます。

5.3 計画の見直し

実効性の高い地区防災計画となるよう、年 1 回の避難訓練を実施し、計画検証を行った上で、必要に応じて見直しを行います。

具体的には、

- ・活動の対象範囲や活動体制(役割分担)
- ・高齢化や要介護の方の状況、避難行動時の課題や問題点など地域の実情の変化
- ・長期的活動予定と現実との相違
- ・防災訓練、備蓄等の事前対策、教育・訓練等の状況

などです。

◆改訂履歴

版	改定年月日	主な改定内容
初版		策定

卷末資料

防災行政無線

防災行政無線は、市民の生命、安全を守るために必要な「緊急情報」を迅速に伝えるものです。音声放送を聞き漏らしたり、よく聞こえなかった場合は、以下の電話番号で音声放送のテレホンサービスをご利用下さい。

【電話番号：0573-65-0370】

インターネット

インターネットを通じて、土砂災害に関する警戒情報を入手することができます。

1) 中津川市公式ホームページ

中津川市に関する防災情報は下記ホームページに【防災に関する情報】としてまとめられています。

<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/page/070305.html>

防災情報

[トップページ](#) > [くらし・手続](#) > [防災・防犯・消防](#) > [防災](#) >

(最終更新：2019年12月10日) [印刷ページ](#)

- 中津川市災害情報ブログ
- 防災行政無線の音声放送を聞き漏らしたり、よく聞こえなかった場合は、以下の電話番号で音声放送のテレホンサービスをご利用ください。(電話番号：0573-65-0370)

防災安全課からのお知らせ

- 台風19号による被害状況等(2019/10/12)
- 【広報R元.8記事】7/3 防災講演会開催(2019/07/31)
- 【広報R元.7記事】岐阜県交通安全功労者表彰(2019/06/30)
- 【広報R元.5記事】3/28 岐阜県東部電気工事協同組合と協定締結(2019/04/30)
- すべて表示

消防本部からのお知らせ

- すべて表示

防災に関する情報

- 防災気象情報
- 市民安全情報ネットワーク
- 緊急速報の配信について
- 中津川市地域防災計画
- 避難対策について
- 指定緊急避難場所・避難所一覧
- 防災マップ・危険箇所・避難場所
- 中津川市の活断層

出典：中津川市ホームページ

図1 中津川市に関する防災情報

2) 中津川市防災気象情報

中津川市防災気象情報のホームページ(<http://www.micosfit.jp/nakatugawa-city/>)では、天気予報、注意報警報、地震・台風、雨量情報などが入手できます。

中津川市防災気象情報 Weather Information

最新注意報警報発表状況

注意書き
岐阜県では、29日昼前まで土砂災害に、29日昼過ぎから29日夜のはじめ頃まで落雷に注意してください。

地域名		発表内容 (07月29日07時38分 発表)	
岐阜県	美濃地方	岐阜・西濃	07月29日07時38分 雷
		東濃	07月29日07時38分 大雨 雷
	中濃	07月29日07時38分 雷	
	飛騨地方	飛騨北部	07月29日07時38分 大雨 雷
飛騨南部		07月29日07時38分 雷	

レーダ 07月29日10時05分

衛星画像 07月29日10時00分

ご利用上の注意
一般財団法人日本気象協会が提供する本システムを通じて入手した全ての情報について、無断転載や二次利用することはできません。気象現象は短時間で変化する可能性があります。また、予測については不確実な場合があります。本情報の利用により発生した損害について、弊社ではいかなる責任も負わないものとしますので、ご了承ください。

図2 中津川市防災気象情報トップページ

中津川市防災気象情報 Weather Information

警報・注意報 (市町村)

岐阜

注意書き
岐阜県では、29日昼前まで土砂災害に、29日昼過ぎから29日夜のはじめ頃まで落雷に注意してください。

地域名		発表内容 (07月29日07時38分 発表)	
岐阜県 [凶登] [履歴]	岐阜・西濃	岐阜市 大垣市 羽島市 各務原市 山県市 瑞穂市 本巣市 海津市 岐阜町 笠松町 養老町 垂井町 関ヶ原町 神戸町 輪之内町 安八町 揖斐川町 大野町 池田町 北方町	
		東濃	07月29日07時38分 中津川市 雷 関 歴史
	中濃	07月29日07時38分 関市 美濃市 美濃加茂市 可児市 郡上市 坂祝町 富加町 川辺町 七宗町 八百津町 白川町 東白川村 御高町	
	飛騨地方 [凶登]	飛騨北部	07月29日07時38分 高山市 飛騨市 白川村
飛騨南部		07月29日07時38分 下呂市	

気象庁が発表する市町村 (一部市町村は分割、東京都は特別区) 別の警報・注意報で、随時発表・更新されます。『発表一覧』では、市町村名をクリックし、発表中の警報・注意報上にオンマウスすることでより詳細な情報を確認できます。『履歴』は市町村別の発表・解除履歴で、備考欄の「外」は県内の他の地域で発表されたことを示します。

日本気象協会提供

図3 警報・注意報

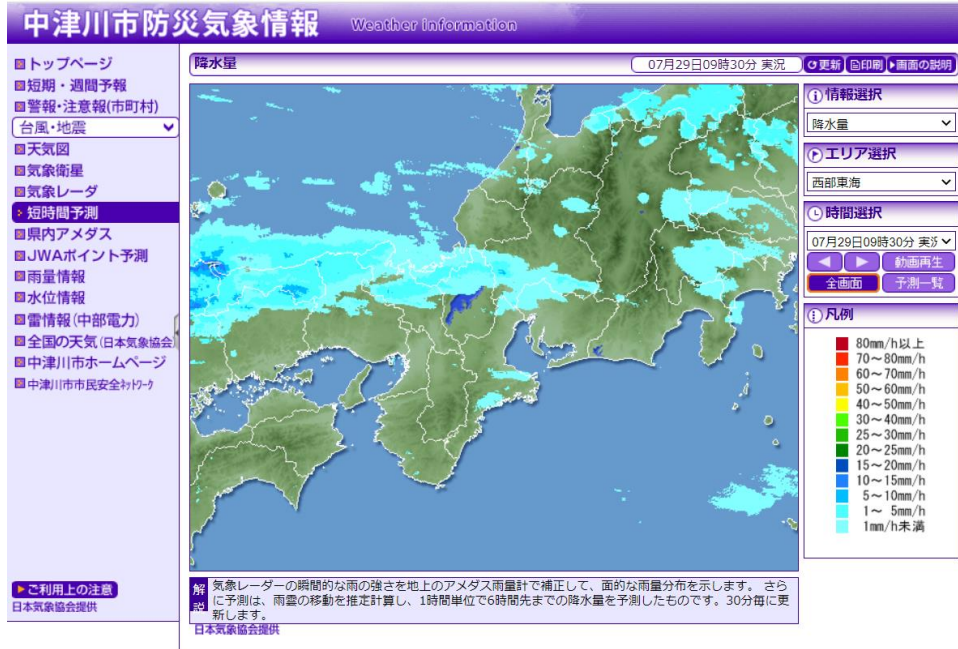


図4 短時間降雨予測

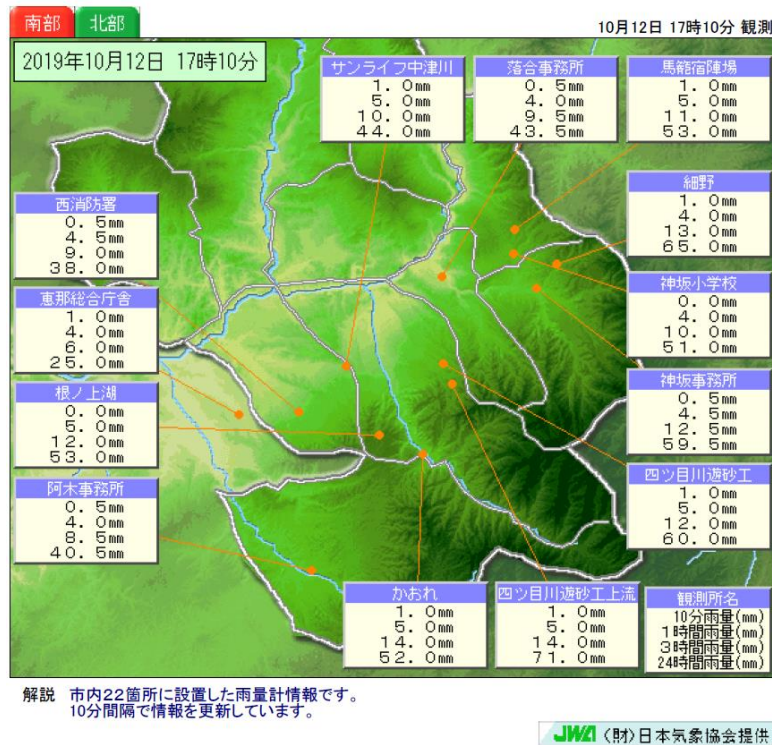


図5 雨量情報

3) 気象庁

気象庁のホームページ(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)では、気象情報のほか、様々な防災情報を入手できます。

The image shows a screenshot of the Japan Meteorological Agency (JMA) website's disaster information page. At the top, there is a navigation bar with the JMA logo, language options (ENGLISH, Other Languages), and a search bar. Below the navigation bar, there are several menu items: ホーム, 防災情報 (highlighted), 各種データ・資料, 地域の情報, 知識・解説, and 各種申請・ご案内. The main content area is titled '防災情報' and is divided into several categories:

- 気象防災**
 - 気象警報・注意報
 - 大雨危険度
 - 大雨・洪水の危険度分布
土砂災害 / 浸水害 / 洪水
 - 雨雲の動き / 今後の雨
 - 気象情報
 - 台風情報
 - 指定河川洪水予報
 - 土砂災害警戒情報
 - 竜巻注意情報
 - 高温注意情報
 - 現在の音
- 地震・津波**
 - 津波警報・予報
 - 地震情報
 - 推計震度分布図
 - 長周期地震動に関する観測情報
 - 南海トラフ地震関連情報
- 火山**
 - 噴火速報・警報・予報
 - 降灰予報
 - 火山ガス予報
- 海洋**
 - 海上警報・予報
 - 海上分布予報
 - 波浪実況・予想図
 - 潮位観測情報
 - 波浪観測情報
- 天気予報など**
 - 天気予報
明日までを詳しく
向こう一週間
 - 2週間気温予報
 - 早期天候情報
 - 季節予報
 - 雨雲の動き / 今後の雨
 - 天気図
 - 黄砂情報
 - 紫外線情報
- 気象の観測情報**
 - 気象衛星ひまわり
 - 推計気象分布
 - アメダス
(地上の観測結果)
 - ウィンドプロファイラ
(上空の風)

図6 気象庁が発表する防災情報

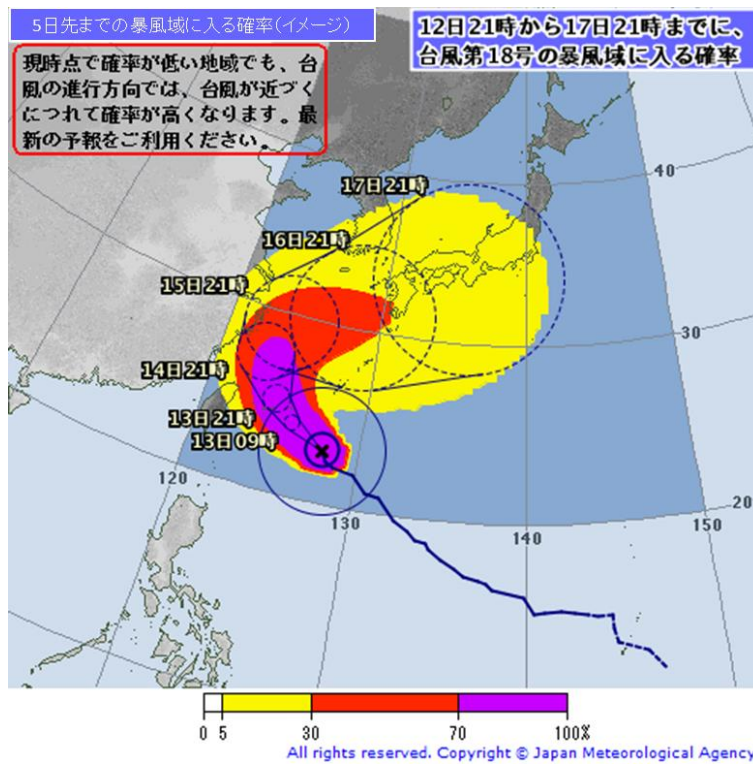


図7 台風情報

5日先までの強度を含む台風予報は、1日4回発表します。

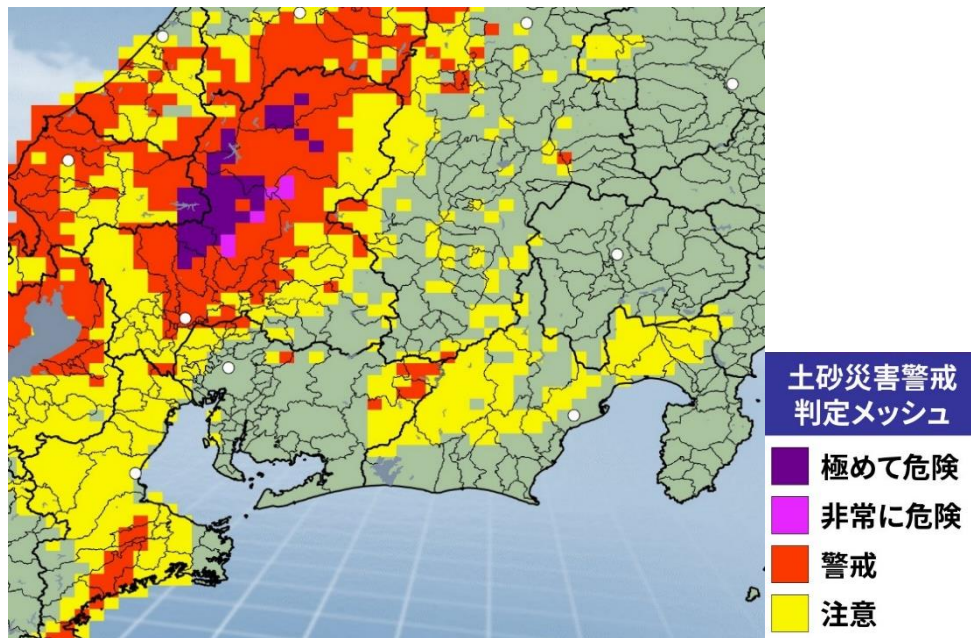


図8 危険度分布(土砂災害の危険度)

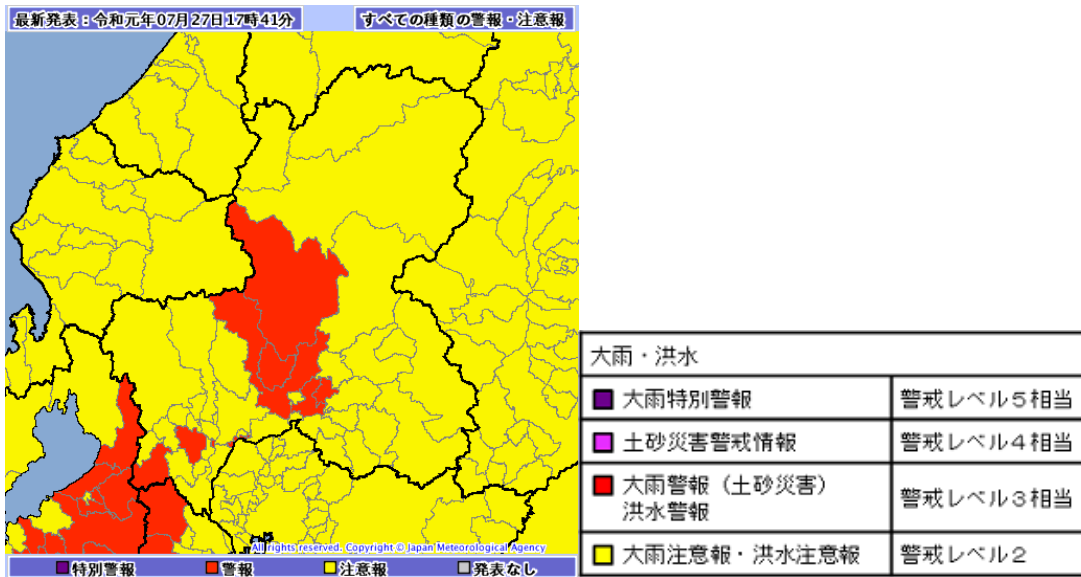


図9 注意報・警報

4) 岐阜県川の防災情報

岐阜県川の防災情報(<https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/#/camera>)は、河川カメラ、川の水位情報、氾濫の危険性に関する情報、河川情報などの情報を入手できます。

また、多治見砂防事務所のホームページでも河川カメラの静止画を確認できます。

中津川上流：https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/desk/sabou_004.html

中津川第一：https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/desk/sabou_005.html

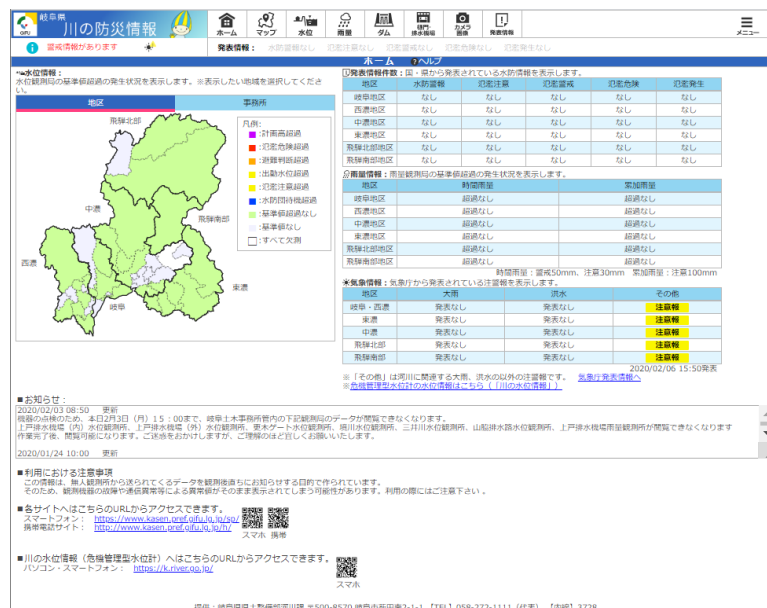


図10 岐阜県川の防災情報トップページ

岐阜県 川の防災情報

警戒情報があります

発表情報： 水防警報なし 氾濫注意なし 氾濫警戒なし 氾濫危険なし 氾濫発生なし

水位 ? ヘルプ

観測日時: 2020/07/29 11:10

観測局: 恵那土木事務所

表示内容: 現況のみ

基準水位あり	流域名	河川名	所在地	観測局名	現在水位	増減
○	木曽川流域	中津川	中津川市	中津川	0.19	→
○	木曽川流域	木曽川	中津川市	釜倉	5.53	↓
	木曽川流域	中津川	中津川市	手賀野	0.25	→
	木曽川流域	付知川	中津川市	付知	1.79	↑
	木曽川流域	富田川	恵那市	芝原	0.35	→
	木曽川流域	富田川	恵那市	鳥屋場	0.53	→
	木曽川流域	中野方川	恵那市	野瀬橋	0.32	→
	天作川流域	上村川	恵那市	雲ヶ淵	1.47	→
	土岐川流域	小里川	恵那市	小里川	1.59	↓
	木曽川流域	付知川	中津川市	知原	3.13	↓
	木曽川流域	阿木川	中津川市	阿木	0.38	↑
	木曽川流域	阿木川	恵那市	南原上	1.01	→
	木曽川流域	阿木川	恵那市	大門	0.85	→
	木曽川流域	岩村川	恵那市	下坊	0.79	→
	木曽川流域	川上川	中津川市	川上川夕霧公園口	***	
	天作川流域	明智川	恵那市	明智川橋	***	
	木曽川流域	永田川	恵那市	永田川草刈橋	***	
	天作川流域	吉田川	恵那市	吉田川茨城橋	***	
	土岐川流域	藤川	恵那市	藤川橋平橋上	***	
	木曽川流域	岩村川	恵那市	岩村川栄京橋	***	
	木曽川流域	後田川	中津川市	後田川惣橋後割	***	
	木曽川流域	坂本川	中津川市	坂本川中切上橋上	***	
	木曽川流域	千日林川	中津川市	千日林川中平橋上	***	
	木曽川流域	四ツ目川	中津川市	四ツ目川奥下橋	***	

2020/07/28 10:20

手賀野 (てがの) 中津川市手賀野

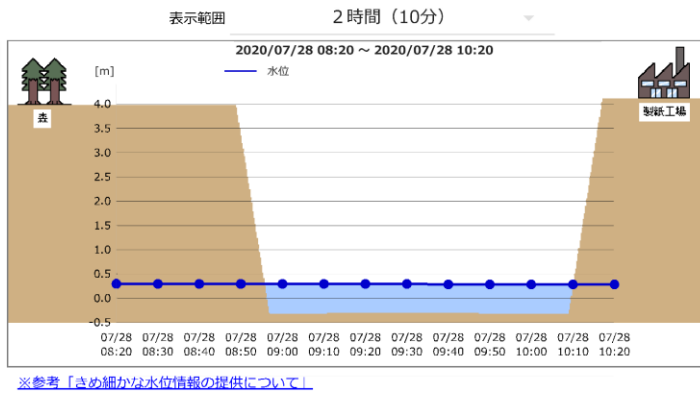
水位超過はありません

発表情報はありません

07/28 10:20 時点水位 0.29m

流域名	木曽川流域
河川名	中津川
計画高水位	▲
きめ細かな水位Gp4	▲
きめ細かな水位Gp3	▲
きめ細かな水位Gp2	▲
氾濫危険水位	▲
避難判断水位	▲
出動水位	▲
氾濫注意水位	▲
水防待機水位	▲
零点高	380.80 m

観測日時	水位	増減
2020/07/28 10:20	0.29	→
2020/07/28 10:10	0.29	→
2020/07/28 10:00	0.29	→
2020/07/28 09:50	0.29	→
2020/07/28 09:40	0.29	↓
2020/07/28 09:30	0.30	→
2020/07/28 09:20	0.30	→
2020/07/28 09:10	0.30	→
2020/07/28 09:00	0.30	→



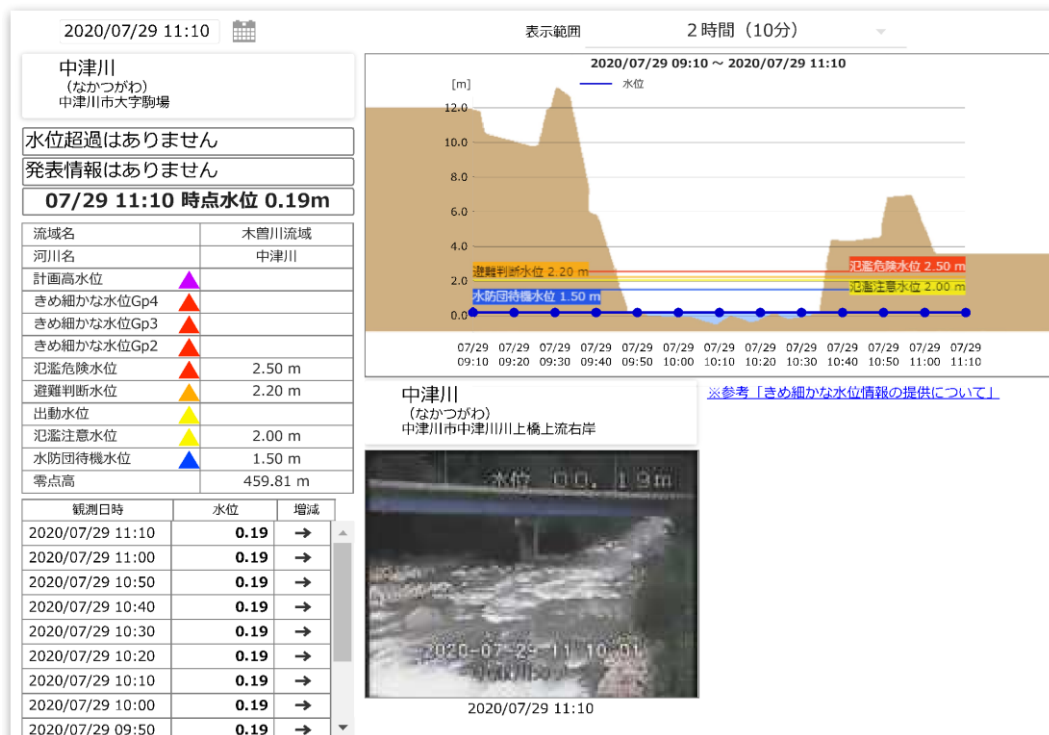


図 11 水位情報

5) ぎふ土砂災害警戒情報ポータル

ぎふ土砂災害警戒情報ポータルのホームページ(<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/#>)では、土砂災害警戒情報、雨量情報、水位情報などを入手できます。

ぎふ 土砂災害警戒情報ポータル

[砂防ポータル](#)
[総合防災ポータル](#)
[岐阜地方気象台](#)
[気象庁](#)
[利用上の注意](#)

[岐阜県 川の防災情報](#)
[土砂災害警戒区域等](#)
[ぎふ山と川の危険箇所マップ](#)

[管理者からのお知らせ](#)
[メンテナンスのお知らせ](#)
[すべて表示](#)

「土砂災害危険度情報」は、参考情報としてご利用ください。
 気象庁ホームページの「土砂災害警戒判定メッシュ情報」と表示が異なる場合は、気象庁ホームページをご利用ください。
 本サイトの提供情報は、「利用上の注意」をご確認のうえご利用ください。

[洪水・土砂災害の警戒レベル分け](#) [詳細はこちら](#)

土砂災害危険度情報
 土砂災害警戒情報を補足する情報が確認できます。

雨量情報
 県内の雨量計のデータが確認できます。

[ホームページの見方](#)
[用語解説](#)
[携帯電話端末での見方](#)

出典：ぎふ土砂災害警戒情報ポータルトップページ

図 12 ぎふ土砂災害警戒情報ポータルトップページ

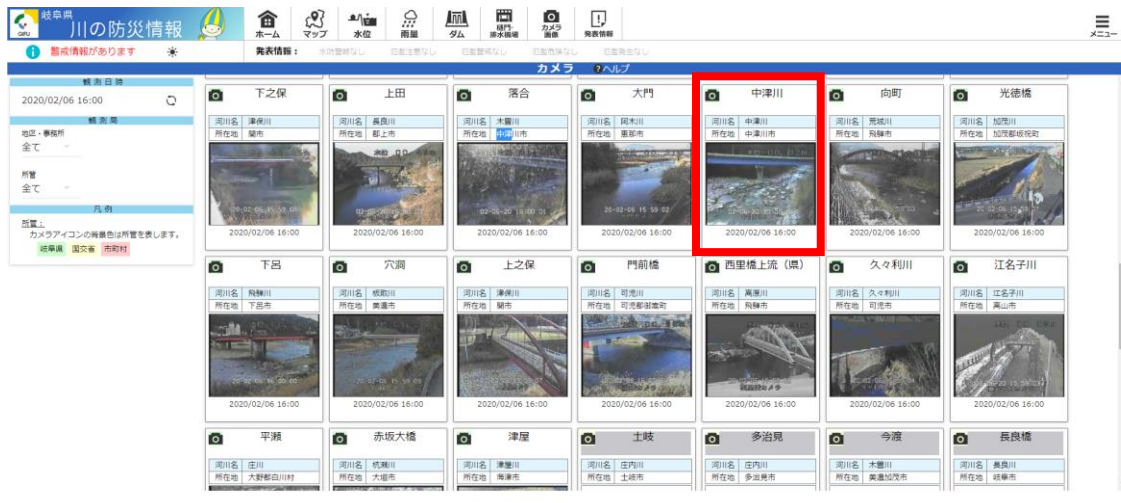


図 14 河川カメラ



図 14 河川カメラ

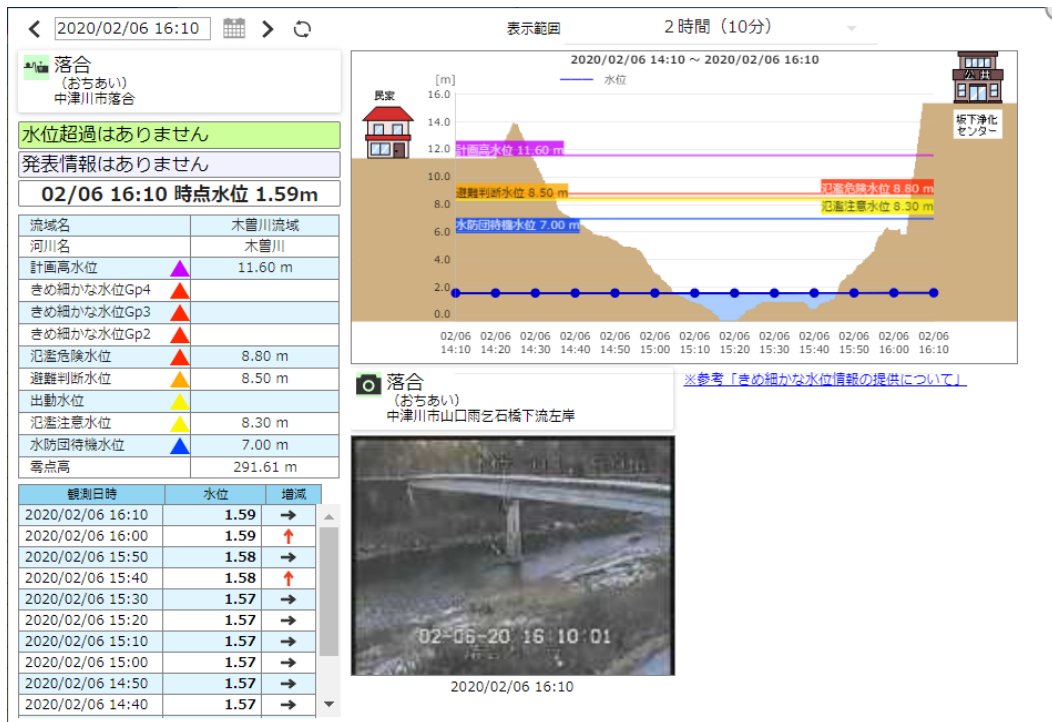


図 15 川の水位情報(落合)

6) その他

インターネットでは多くの防災情報が公開されています。防災情報が充実しているサイトとして、下記の2つを紹介します。

例：あなたの天気・防災(NHK)、Yahoo 天気予報・防災

7) 市民安全情報ネットワーク

市民安全情報ネットワークは、災害や犯罪といった身の回りの情報や学校・地域からのお知らせなど、地域に密着した情報をメールでお知らせするシステムです。お手持ちの携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録することで、受信することができます。

【登録方法】

下記、ホームページから必要な情報を登録します。

<https://m.sugumail.com/m/nakatsugawa/home>

【入手できる防災情報】

- ・ 火災情報
- ・ 地震情報

- ・中津川市の警報情報
- ・中津川市の注意報情報
- ・土砂災害警戒情報
- ・雨量情報
- ・水位情報

防災情報のほかに、生活安全情報、地域情報、学校・園情報を受け取ることができます。

テレビ

災害の危険性が迫っているときには、テレビのデータ放送を使って、河川の水位・雨量や避難情報などが確認できます。

操作方法（以下の手順で避難情報・開設避難所を確認できます）

- 1) d（データ）ボタンを押す（※機種によってボタンの位置・標示は異なります）



- 2) メニューから「地域の防災・生活情報」を選択



3) 「警報・注意報」、「避難指示・勧告」、「河川水位・雨量」などを選択



※災害発生時は操作方法が異なる場合があります

図 17 データ放送の使い方